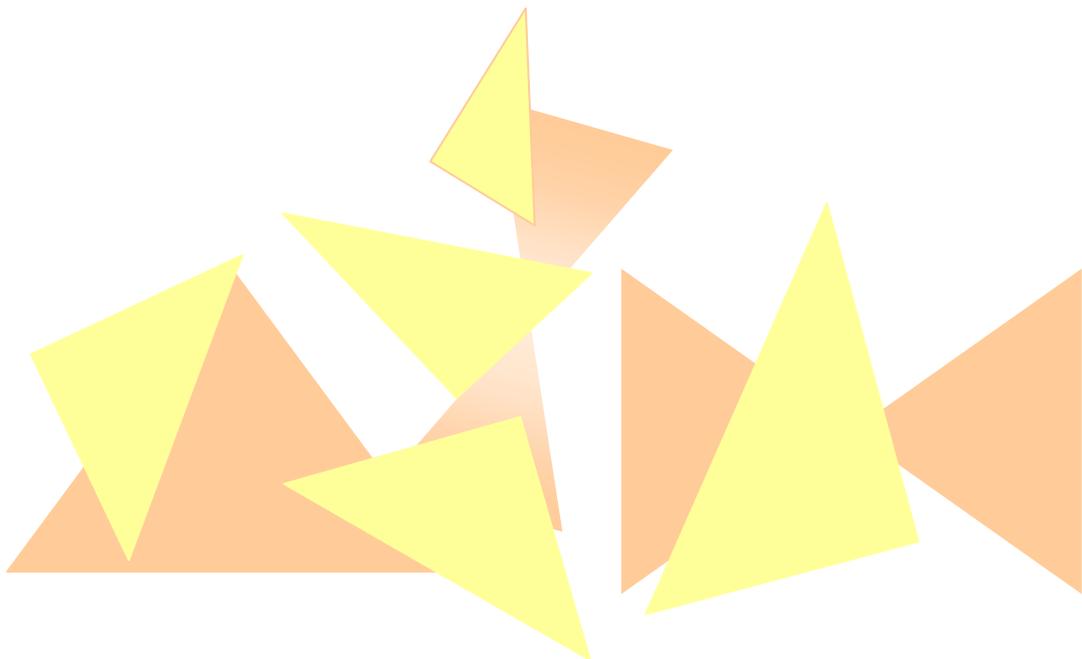


第1章

令和元年度の男女共同参画に関する主な動きと取組み

県では、平成13年3月に山形県男女共同参画計画を策定（計画期間：平成13～22年度）し、男女共同参画による豊かな地域社会を築くための取組みを進めて参りました。平成28年3月には、新たな山形県男女共同参画計画を策定し、さらなる推進に努めております。

第1章では、「ウーマノミクスで経済活性化塾」や「やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラム」などの女性の活躍促進、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」や「やまがたイクボス同盟」などのワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み、また山形県男女共同参画センターの取組みやDV未然防止に向けた意識啓発の強化についてなど、令和元年度の男女共同参画に関する主な動きと取組みを御紹介します。



1. 女性の活躍促進

(1) ウーマノミクスで経済活性化塾の開催

女性活躍が企業力強化や業績向上に生きる経営戦略であることから、山形県内の企業に女性活躍推進への理解と意識改革を促す連続講座を開催しました。

【会場】山形ビッグウイング（山形市）

【対象】県内企業の経営者や管理職 等

◆全体シンポジウム

【日時】令和元年10月9日（水）14：00～17：00

【内容】

〔第1部〕基調講演

演題：「女性活躍推進、次のステージへ」

講師：村上 由美子 氏（OECD 東京センター所長）

〔第2部〕パネルディスカッション

◇テーマ「女性も活躍する企業が成長する！！～ウーマノミクスで山形に新しい風をおこそう～」

◇コーディネーター 中村 奈都子 氏（日本経済新聞女性面編集長）

◇パネリスト（五十音順）

- ・齋藤 士郎 氏（キャド・キャム株式会社 代表取締役社長）
- ・白川 香名 氏（株式会社大和証券グループ本社 常務執行役人事担当）
- ・田宮 直彦 氏（日立金属株式会社 執行役常務人事総務本部長）



〔全体シンポジウムの様子〕

◆第1回連続講座

【日時】令和元年10月18日（金）13：30～16：30

【内容】

〔第1部〕パネルディスカッション

◇テーマ「こう進める！管理職の意識改革」

◇コーディネーター 中村 奈都子 氏（日本経済新聞女性面編集長）

◇パネリスト（五十音順）

- ・木村 裕美 氏（インペックスソリューションズ株式会社 企画調査部部長）
- ・佐藤 真理 氏（ND ソフトウェア株式会社 人事部兼総務部長）

〔第2部〕グループワーク

テーマ：「部下育成法」

講師：木本 幹則 氏（合同会社キモト代表社員）

◆第2回連続講座

【日時】令和元年10月30日（水）13：30～16：30

【内容】

〔第1部〕パネルディスカッション

◇テーマ「ここが重要！社内コミュニケーション活性化」

◇コーディネーター 中村 奈都子 氏（日本経済新聞女性面編集長）

◇パネリスト（五十音順）

- ・若濱 靖樹 氏（アフラック生命保険株式会社 ダイバーシティ推進部課長）
- ・金子 麻由子 氏（株式会社mog 取締役副社長）

[第2部] グループワーク

テーマ：「リーダーに期待されるコミュニケーション」

講師：青木 テル 氏（株式会社タクト&アクト 代表取締役）

（2）やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラムの実施

女性の活躍推進により社会や経済の活性化につなげることを目的に、県内で働く女性を対象に異業種間の交流やテーマ別分科会での意見交換、ロールモデルによる事例発表等を行う「やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラム」を開催しました。

【日時】令和元年11月28日（木）13:30～17:00

【会場】パレスグランデール（山形市）

【内容】

[第1部] 講演/ロールモデルとのトークセッション

《講演》

演題：「人生100年時代のキャリア戦略～仕事も私生活も自分らしく幸せに～」

講師兼コーディネーター：麓 幸子 氏（作家・ジャーナリスト（日経ウーマン元編集長））

《ロールモデルとのトークセッション》

- ・大内 真里生 氏（株式会社シェルター総務部・秘書広報室 chief）
- ・金澤 恵美 氏（株式会社ジョイン グループ企画課 係長）

[第2部] テーマ別分科会

[第3部] 交流会



〔フォーラムの様子〕

（3）マザーズジョブサポート山形・庄内の取組み

就職を希望している子育て中の女性を支援するため開設した仕事と家庭のワンストップ支援窓口、マザーズジョブサポート山形及び庄内では、離職してからのブランクに対する不安や、お子さんの預け先に悩みを抱えていらっしゃる方などの相談に対応する窓口として、マザーズ・コンシェルジュによる総合相談を実施しております。

併せて、保育ルームを設置し、相談中や就職面接時等における託児サービスの提供を行っています。

また、様々な業種に関心を持つきっかけとし、就業に関する女性の選択肢を広げることを目的として、「職業理解セミナー」や「ママたちの職場見学会」※を開催しました。その他、県内6ヶ所のハローワーク等にマザーズ・コンシェルジュが出張しセミナーや個別相談を行う「マザーズおしごと相談会」や就職面接用のスーツ・靴・バッグの貸出等を行っています。

※マザーズジョブサポート山形でのみ開催



〔職業理解セミナーの様子〕

【令和元年度利用実績（R2.1月末現在）】

	県窓口利用者数 (延べ人数)	就職者数 (延べ人数)	保育ルーム利用者数 (児童数・延べ人数)
マザーズジョブサポ ート山形	906人	209人	218人
マザーズジョブサポ ート庄内	716人	92人	200人

【令和元年度マザーズおしごと相談会 実績】

地 域	会 場	実施回数	受講人数(延べ)※
村山地域	ハローワーク村山	6回	36名
	ハローワーク寒河江	6回	27名
最上地域	ハローワーク新庄	8回	38名
置賜地域	ハローワーク米沢	15回	94名
	ハローワーク長井	10回	19名
庄内地域	ハローワーク鶴岡	15回	150名

※ ～令和2年1月末時点

2. ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み

(1) やまがた子育て・介護応援いきいき企業登録・認定制度

やまがた子育て・介護応援いきいき企業登録・認定制度は、「女性の活躍推進」や「仕事と家庭の両立支援」に取り組む企業を、県が登録・認定し、サポートする取組みです。令和2年1月末現在の登録・認定企業数は、852社となっています。

◇登録・認定要件◇

(1)～(3)の要件を全て満たす企業等を「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」として登録・認定する。

(1) 以下のいずれかに該当すること

【宣言企業】

認定基準のうち、2つ以上に取り組む計画がある企業

【実践（ゴールド）企業】

認定基準のうち、2つ以上に取り組んでいる企業

【優秀（ダイヤモンド）企業】

認定基準のうち、4つ以上に取り組んでいる企業

※ 優秀（ダイヤモンド）企業は認定基準Ⅰ・Ⅱ必須

<認定基準>

Ⅰ 女性の活躍推進

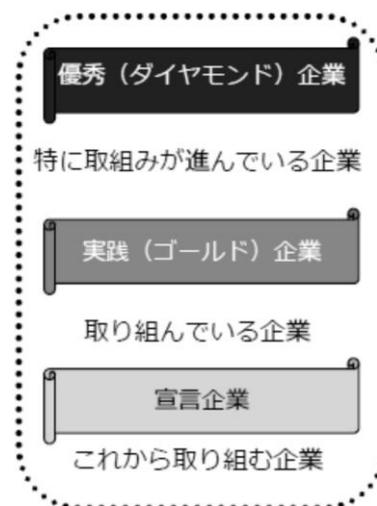
Ⅱ 仕事と家庭の両立支援

Ⅲ 出産・育児・介護等により退職した女性の再雇用等

Ⅳ 男女がともに働きやすい職場づくり

Ⅴ 県民の結婚支援・子育て支援・若者応援・地域貢献

(2) ワーク・ライフ・バランス推進員を設置すること



- (3) 事業主又は役員が暴力団員でないこと、もしくは暴力団
又は暴力団員と密接な関係を有しないこと

◇登録・認定企業へのサポート◇

① 登録・認定マークの使用	宣言企業	実践 (ゴールド)企業	優秀 (ダイヤモンド)企業
② 奨励金の交付 (1回のみ)			
③ 県産業活性化資金優遇金利(女性活躍推進関連)適用			
④ 働き方改革推進支援資金特別利率適用【日本政策金融公庫】			
⑤ 市町村からの支援措置 (上山市・新庄市・鶴岡市・酒田市)			
⑥ ワーク・ライフ・バランスに関する冊子等の配付			
⑦ ワーク・ライフ・バランスミニのぼり旗の配付			
⑧ 奨励金の交付 (2回目以降)			
⑨ 県産業活性化支援資金優遇金利適用			
⑩ 県競争入札参加資格者名簿 (建設工事) 発注者別評価点を5点加点			
⑪ 市町村からの支援措置適用 (山形市・山辺町・新庄市・真室川町・鶴岡市・酒田市)			
⑫ 荘内銀行・日本政策金融公庫協調融資における特別利率の適用			
⑬ 優秀 (ダイヤモンド) 企業盾の交付			

※奨励金のメニュー

- (1) 女性を管理職に登用した場合
- (2) 男性の育児休業取得者が出た場合
- (3) 法定を超える介護休業・介護休暇を規定し、当該規定部分の取得者が出た場合
- (4) 小学校就学前の子を養育する女性を正社員として雇用した場合
- (5) 女性を役員に登用した場合

※登録・認定マーク (本県の特産品である「さくらんぼ」をモチーフとし、大小の2粒が寄り添う
ことで、親子に見立てたデザインとしています。)

【宣言企業】



【実践 (ゴールド) 企業】



【優秀 (ダイヤモンド) 企業】



◇優秀（ダイヤモンド）企業一覧（令和2年1月末現在170社）※敬称略◇

No.	企業等名称	市町村	No.	企業等名称	市町村
1	A I S O H O企業組合	山形市	46	山形市農業協同組合	山形市
2	株式会社E旅	山形市	47	山形信用金庫	山形市
3	株式会社伊藤熱処理	山形市	48	株式会社ヤマコー	山形市
4	学校法人羽陽学園	山形市	49	社会福祉法人友愛会	山形市
5	株式会社N T T 東日本ー東北山形支店	山形市	50	社会福祉法人ユトリア会	山形市
6	株式会社エフエム山形	山形市	51	株式会社ユニバーサル山形	山形市
7	株式会社大風印刷	山形市	52	株式会社萬屋薬局	山形市
8	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院	山形市	53	リコージャパン株式会社山形支社	山形市
9	花王グループカスタマーマーケティング株式会社東北支社山形支店	山形市	54	株式会社レオパレス21	山形市
10	株式会社きらやか銀行	山形市	55	クサカベ石油株式会社	寒河江市
11	株式会社工藤測量設計	山形市	56	社会福祉法人寒河江あおぞら保育園	寒河江市
12	株式会社クリーンシステム	山形市	57	株式会社寒河江測量設計事務所	寒河江市
13	黒澤建設工業株式会社	山形市	58	株式会社高田地研	寒河江市
14	社会福祉法人敬寿会	山形市	59	株式会社多田	寒河江市
15	株式会社KDDIエボルバ山形センター	山形市	60	角田商事株式会社	寒河江市
16	弘栄設備工業株式会社	山形市	61	日東ベスト株式会社	寒河江市
17	株式会社サニックス	山形市	62	株式会社若月印刷	寒河江市
18	株式会社ジェイ・サポート	山形市	63	社会福祉法人偕寿会	上山市
19	医療法人社団松柏会	山形市	64	社会福祉法人みゆき福祉会	上山市
20	株式会社ジョインセレモニー	山形市	65	株式会社コヤマ	村山市
21	積水ハウス山形支店	山形市	66	株式会社快筋堂	天童市
22	株式会社セラフィム	山形市	67	株式会社志乃屋	天童市
23	第一生命保険株式会社山形支社	山形市	68	株式会社つるかめ	天童市
24	大和証券株式会社山形支店	山形市	69	株式会社ナコン	天童市
25	大和リース株式会社山形営業所	山形市	70	日新製薬株式会社	天童市
26	東ソー・スペシャリティマテリアル株式会社	山形市	71	丸七建設株式会社	天童市
27	株式会社東北消防設備	山形市	72	神町電子株式会社	東根市
28	東北電化工業株式会社	山形市	73	社会福祉法人東根福祉会	東根市
29	東北電力株式会社	山形市	74	山形サンケン株式会社	東根市
30	株式会社東北福祉サービス	山形市	75	山形中央観光株式会社	東根市
31	株式会社日本政策金融公庫山形支店	山形市	76	特定医療法人敬愛会尾花沢病院	尾花沢市
32	ハンズバリュー株式会社	山形市	77	有限会社青空介護サービス	河北町
33	藤庄印刷株式会社	山形市	78	株式会社黒田組	河北町
34	富士電子株式会社	山形市	79	株式会社丹野園茶舗	河北町
35	株式会社フロッツ	山形市	80	モガミフーズ株式会社	河北町
36	株式会社マルハン	山形市	81	有限会社三泰工業所	河北町
37	ミクロン精密株式会社	山形市	82	特定非営利活動法人あじさい	大江町
38	ミツミ電機株式会社 山形事業所	山形市	83	株式会社小堀製作所	大江町
39	ミドリオートレザー株式会社	山形市	84	アイル・クリエイト株式会社	新庄市
40	社会福祉法人妙光福祉会	山形市	85	有限会社アドバンビル	新庄市
41	株式会社Moment	山形市	86	株式会社ウェルネス新庄	新庄市
42	特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド	山形市	87	社会福祉法人新庄市社会福祉協議会	新庄市
43	株式会社山形銀行	山形市	88	東舗工業株式会社	新庄市
44	社会福祉法人山形県社会福祉事業団	山形市	89	沼田建設株式会社	新庄市
45	山形県赤十字血液センター	山形市	90	特定非営利活動法人はぐくみ保育園	新庄市

No.	企業等名称	市町村
91	特定非営利活動法人福祉サポートセンター山形	新庄市
92	山形航空電子株式会社	新庄市
93	山形東亜DKK株式会社	新庄市
94	株式会社三和食品	最上町
95	AGCディスプレイグラス米沢株式会社	米沢市
96	一般財団法人三友堂病院	米沢市
97	新和設計株式会社	米沢市
98	世紀株式会社	米沢市
99	株式会社ナウエル	米沢市
100	朝日金属工業株式会社	長井市
101	株式会社四釜製作所	長井市
102	山形中央信用組合	長井市
103	エヌ・デーソフトウェア株式会社	南陽市
104	阿部コンクリート株式会社	鶴岡市
105	社会福祉法人一幸会	鶴岡市
106	株式会社feふぁーむ	鶴岡市
107	社会福祉法人恵泉会	鶴岡市
108	社会福祉法人思恩会	鶴岡市
109	有限会社菅原運送	鶴岡市
110	キャド・キャム株式会社	鶴岡市
111	社会福祉法人恵愛会	鶴岡市
112	株式会社庄交コーポレーション	鶴岡市
113	株式会社荘内銀行	鶴岡市
114	庄内交通株式会社	鶴岡市
115	株式会社菅興業	鶴岡市
116	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社山形テクノロジセンター	鶴岡市
117	鶴岡市農業協同組合	鶴岡市
118	鶴岡信用金庫	鶴岡市
119	ティービーアール株式会社	鶴岡市
120	社会福祉法人道形保育会道形保育園	鶴岡市
121	社会福祉法人羽黒百寿会	鶴岡市
122	株式会社メタジェン	鶴岡市
123	株式会社山口工務店	鶴岡市
124	株式会社山本組	鶴岡市
125	阿部エンジニアリング株式会社	酒田市
126	株式会社飯塚製作所	酒田市
127	五十嵐工業株式会社	酒田市
128	社会福祉法人幾久栄会	酒田市
129	羽前建設株式会社	酒田市
130	東北エプソン株式会社	酒田市

No.	企業等名称	市町村
131	株式会社エルデック	酒田市
132	おがた法律事務所	酒田市
133	花王株式会社酒田工場	酒田市
134	社会福祉法人かたばみ会	酒田市
135	環清工業株式会社	酒田市
136	有限会社菊池電気	酒田市
137	キューブワン情報株式会社	酒田市
138	社会福祉法人光風会	酒田市
139	株式会社小松写真印刷	酒田市
140	多機能福祉施設 こもれび	酒田市
141	酒田エフエム放送株式会社	酒田市
142	社会福祉法人酒田保育協会	酒田市
143	社会福祉法人さくら福祉会	酒田市
144	株式会社三栄電機工業	酒田市
145	株式会社J Institute	酒田市
146	株式会社庄内給食センター	酒田市
147	株式会社テクノ	酒田市
148	学校法人天真林昌学園	酒田市
149	東北東ソー化学株式会社	酒田市
150	東北メンテナンス工業株式会社	酒田市
151	株式会社東洋開発	酒田市
152	株式会社長浜建設	酒田市
153	社会福祉法人南遊佐協会鳥海保育園	酒田市
154	認定こども園浄徳幼稚園・じょうとく保育園	酒田市
155	株式会社花笠食品	酒田市
156	林建設工業株式会社	酒田市
157	パワーリハビリサービス酒田	酒田市
158	株式会社平田牧場	酒田市
159	株式会社ランチ	酒田市
160	株式会社プレスステージ・インターナショナル山形BPOガーデン	酒田市
161	松岡株式会社	酒田市
162	株式会社丸高	酒田市
163	株式会社メカニック	酒田市
164	有限会社山形電設	酒田市
165	ロイヤルネットワーク株式会社	酒田市
166	株式会社エフ・ワン	庄内町
167	社会福祉法人立川厚生会	庄内町
168	医療法人順仁堂	遊佐町
169	学校法人杉の子学園	遊佐町
170	社会福祉法人遊佐厚生会	遊佐町

(2) 女性の新規就業支援・女性活躍支援事業

3名のマッチングコーディネーターが直接企業を訪問し、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」の説明や認定手続きのサポートなど、職場環境の改善を支援するとともに、女性の雇用を拡大することを目的として、女性の新規就業支援・女性活躍支援事業を実施しました。

【訪問企業数】517社 (R2.2月末現在)



(3) 山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰

仕事と生活の調和がとれた社会の実現に向けて積極的に取り組み、成果が認められる企業を表彰することにより、県内企業の自主的な取組みをより一層促進し、県民の意識啓発を推進するため、「山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰」を実施しました。

令和元年度は1社が受賞され、令和元年11月11日(月)にホテルメトロポリタン山形において表彰式が執り行われました。



〔若松副知事と受賞者(株)東洋開発
代表取締役社長 榎引柳一氏〕

受賞企業概要 (記載内容は受賞時点)

株式会社東洋開発

【所在地：酒田市本町 業種：不動産業 従業員：16名(男性7名、女性9名)】

【主な取組み内容】

《ワーク・ライフ・バランス推進に向けた主な取組み・成果》

- 午後8時以降の所定外労働時間を、就業規則で禁止している。
- 年次有給休暇を時間単位で取得可能としている。
- 子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得可能としている。
- 9月に、2日分の休暇を取得できる「シルバーウィーク休暇」を独自に導入している。
- 「ワーク・ライフ・バランス&子育て支援健康経営推進」を宣言し、会社を挙げた勤務環境のサポートを実践している。

⇒成果

- ・所定外労働時間数が、県平均を下回っている。
- ・年次有給休暇の取得率が、県平均を上回っている。

《その他の取組み》

- 役員・管理職9名のうち、女性が4名となっている。
- 誰もが働きやすい職場となるよう取組みを進め、様々な認定を受けている。(例：やまがた子育て・介護応援いきいき企業ダイヤモンド企業、くるみん認定企業、ユースエール認定企業、健康経営優良法人(中小企業部門)2019)
- 各部署の取締役と従業員が定期的に面談を行い、職場環境を整備している。

(4) やまがたイクボス同盟の普及・拡大

女性の活躍や男性の家事・育児への参画促進など、男女が共に仕事と家庭生活を両立できる社会の実現を目指し、山形県知事や経済団体などのトップが発起人となり平成 27 年度に「やまがたイクボス同盟」を設立しました。令和 2 年 2 月末現在の加盟企業数は、473 社となっています。

また、「やまがたイクボス同盟」では、今年度以下の取組みを行いました。

○ やまがたイクボス同盟 トップセミナー

企業経営者等にワーク・ライフ・バランス推進の重要性を改めてお伝えすることを目的に「やまがたイクボス同盟 トップセミナー」を開催しました。当日は、元カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO 松本 晃 氏に御講演いただいたほか、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む県内外企業によるパネルディスカッションを実施しました。

【日時】令和元年 11 月 11 日（月）14:30～17:30

【会場】ホテルメトロポリタン山形（山形市）

【対象】企業の経営者、管理職、人事労務担当者、
地方自治体の管理職 など

【内容】

[第 1 部]令和元年度山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰式

[第 2 部]基調講演

演題：「日本人、男、シニア、有名大学卒… そんな人たちだけでやっていけますか？」

講師：松本 晃 氏（元カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO）

[第 3 部]パネルディスカッション

◇テーマ「選ばれる会社には、人を大切にする上司がいる」

◇コメンテーター 松本 晃 氏

◇コーディネーター 武田 靖子 氏（株式会社ジョイン 常務取締役）

◇パネリスト（五十音順）

・佐藤 啓 氏（株式会社サニックス 代表取締役社長）

・船橋 吾一 氏（弘栄設備工業株式会社 代表取締役）

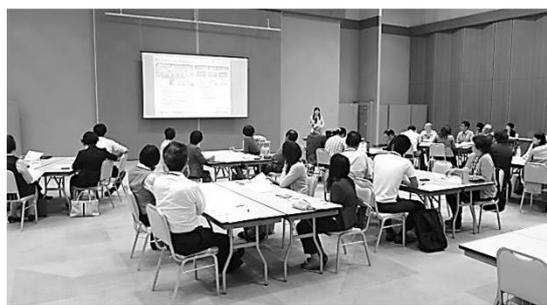


〔トップセミナーの様子〕

○ やまがたイクボス同盟 担当者向け研修会

人事労務担当者等にワーク・ライフ・バランス推進の重要性を改めてお伝えするとともに、同盟加盟企業間での悩みや課題の共有することを目的に「やまがたイクボス同盟 担当者向け研修会」を開催しました。

県内 2 地域（庄内・置賜）で、ホシザキ東北株式会社 管理部総務課長 高橋 真弓 氏に御講演いただき、また、グループワーク形式で、参加者の所属する企業等での現在の取組みや課題、今後の対応について情報交換を行いました。



〔基調講演の様子〕

【日時】庄内地域：令和元年9月24日（火）13:30～16:00、置賜地域：令和元年9月27日（金）13:30～16:00

【会場】庄内地域：いろり火の里（三川町）、置賜地域：アクティー米沢（米沢市）

【対象】人事労務担当者 など

【内容】

〔第1部〕基調講演

演題：「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」

講師：高橋 真弓 氏（ホシザキ東北株式会社 管理部総務課長）

〔第2部〕グループワーク

テーマ：「ワーク・ライフ・バランスの推進、働き方改革について」

○ やまがたイクボス同盟 統一行動の実施

加盟企業のうち趣旨に賛同する企業が、「イクボス同盟の更なる普及・拡大」及び「県内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進」を目的に、統一的な行動として『一斉退社』を実施しました。（退社時間は各企業の定時）

◆夏の統一行動

【推進期間】令和元年7月1日（月）～7日（日）

【一斉定時帰り強化Day】令和元年7月5日（金）

【参加数】87企業・団体

◆冬の統一行動

【推進期間】令和元年11月24日（日）～12月31日（火）

【一斉定時帰り強化Day】令和元年12月27日（金）

【参加数】90企業・団体



3. 地域における男女共同参画の推進

(1) 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」を実施しました。令和元年度は、功労者表彰を2名が受賞され、令和元年9月29日（日）に開催された「チェリア・フェスティバル山形2019」において表彰式が執り行われました。



〔吉村知事及び松田子育て推進部長と
受賞者 佐藤明子氏〕

受賞者概要（功労者表彰）

功労者表彰は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が特に顕著であると認められる個人・団体を表彰するものです。

佐藤 明子 氏（河北町）

長年、河北町内の女性団体の調整を図る「河北町女性団体連絡協議会」の会長を務めるとともに、河北町の男女共同参画計画の策定に際しては中心的な役割を果たし、河北町における男女共同参画の推進に大きく貢献した。

河北町婦人会の会長として先頭に立ち、東日本大震災後は、毎年支援活動を行い、宮城県石巻市内の施設を訪問し支援を継続する中で、婦人会としても有事に備える必要性を強く認識し、毎年町内で炊き出し訓練を実施するなど、女性の視点から防災意識を高めることにも貢献した。

吉岡 信弥 氏（天童市）

山形県医師会の勤務医（女性医師支援）担当役員として、「山形県女性医師支援ステーション」や「山形県ドクターバンク」の開設・運営に尽力し、出産や育児・介護等、家庭生活と仕事を両立できる勤務環境の整備と、県内医師の確保に大きく貢献してきた。

働き方改革関連法への対応として、いち早く勤務医の実態調査を行い、医療業界における女性も男性も共に働きやすい環境整備を牽引しており、県内医師の確保と男女ともに働きやすい医療現場の実現に向けて多大な貢献をしている。

（2）男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

内閣府で実施している「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を認定特定非営利活動法人B P W連合会理事を務めている棚田 美津子 氏が受賞しました。

当表彰は、長年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献されてきた方を顕彰するもので、本県からの受賞者は7人目となります。



〔安倍内閣総理大臣及び片山さつき男女共同参画担当大臣（当時）と受賞者〕

棚田 美津子 氏（天童市）

特定非営利活動法人日本B P W連合会 B P W山形クラブ（以下「B P W山形クラブ」という。）の結成に尽力し、その後、平成17年からはB P W山形クラブ会長を務め、多年にわたり本県の働く女性の社会的地位と職業水準の向上等に向け取組みを継続している。平成23年からは、特定非営利活動法人日本B P W連合会の副理事長を務めるなど、県を越え、活躍の場を広げてきた。

東日本大震災後は、連合会震災支援プロジェクトリーダーとして、復興活動を積極的に支援するとともに、平成26年には内閣府男女共同参画推進連携会議の「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組推進」チームに、議員として参加し、男女共同参画の視点からの防災施策の連携について話しあった。

（3）山形県男女共同参画推進員の取組み

県では、平成28年度より県内の各地域において男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るために、各地域の実情や特性を踏まえて地域の中で男女共同参画を推進する山形県男女共同参画推進員

を設置し、推進員による出前講座などを実施しています。

【推進員の設置状況】

村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
11名	6名	5名	6名

4. 山形県男女共同参画センター・チェリアの取組み

(1) 山形県男女共同参画センター・チェリアの概要

山形県男女共同参画センターは、男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野に共同参画する豊かな社会「男女共同参画社会」の実現をめざす活動交流拠点として、平成13年4月1日より遊学館（山形市）内に開設しました。

愛称である「チェリア」は、チェリー（さくらんぼ）とエリア（場所）の組合せによる造語です。さくらんぼは山形県の名産であり、また二つの実が一緒になっている形が男女仲良く並んで男女共同参画を表現しているように見えることからセンターのシンボルマークにもなっています。



〔チェリアシンボルマーク〕

<チェリアの主な取組み>

① 県民の男女共同参画に関する意識改革

民間団体・グループが実施する男女共同参画に関する講座等の開催経費に助成金を交付する県民企画事業や、広報誌「チェリア」の発行やホームページによる情報提供を行っています。

② 地域における身近な男女共同参画の推進

登録団体・グループの発表など県民の参加と交流を目的としたチェリアフェスティバルや県内4ブロックにおいて各地域が主体となって企画、実施する地域講座等を実施しています。

③ ワーク・ライフ・バランス及び女性の活躍推進

企業や地域において男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成する「チェリア塾」の開催や、男性の意識啓発促進のための男性セミナーの開催等を実施しています。

④ 男女共同参画に関する相談・支援

一般相談、男性相談、専門相談（弁護士による法律相談、臨床心理士によるこころの相談）を実施するとともに、相談機関の実務者研修会や相談業務から見えてくる悩みをテーマとした講座を開催しています。

⑤ その他男女共同参画に関する業務

各種調査、団体への指導及び各種研究を行っています。

(2) 令和元年度の主な実施事業

○ チェリア恒例の祭典「チェリアフェスティバル山形 2019」を開催！

チェリアフェスティバルは、男女共同参画社会づくりを目指して活躍している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流を目的に、「あなたと私 違いを力に変えていく」をテーマとして9月29日（日）に文翔館で開催しました。

チェリア登録団体から選ばれた実行委員の企画により、講演会や団体・グループによるワークショップ

プ、活動発表、男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰など今年も盛りだくさんの内容で、当日は、延べ2,749人のご来場をいただきました。

【吉永みち子氏による講演会】

ノンフィクション作家であり、テレビ朝日系列の情報番組コメンテーターとしてもおなじみの吉永みち子さんが講師で、テーマは「自立して生きるということ」。「自立して生きる」ためには経済的な自立と精神的な自立とが必要で、そのために何を大切に生きていく必要があるのかなどを話されました。会場の文翔館議場ホールは、ときおりユーモアを交えながら、聴く人皆を惹き込むトークに満員のお客さんの熱気に包まれました。



【講演する吉永みち子氏】

【団体・グループの活動発表】

ワークショップ 11 企画、展示 11 企画、県民交流 4 企画が催されました。

【アトラクション・にぎわいコーナー】

東根「よさこい」や山大アカペラサークルなどの若者がオープニングアトラクションを飾りました。また、にぎわいコーナーでは、だがしや楽校や親子で楽しめる実験教室などで賑わいました。また、昨年に引き続き山形西高等学校書道部のメンバーから書道パフォーマンスを披露いただき、文翔館前庭は見物人で溢れました。

【アトラクション・にぎわいコーナーの様子】



○ 「チェリア塾基本コース」を置賜地域で開講

企業や地域において、男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成するとともにそのネットワーク化を目的に、「チェリア塾・基本コース」を米沢市で開講しました。修了者数は19名でしたが、修了後も自主的に交流を続け、次年度の実践コースに向けた準備を行っています。



【第1回】「一歩動き出すために～男女共同参画のウラオモテ～」

講師：遠藤 恵子 氏（東北学院大学名誉教授）

【第2回】「キャリアデザイン～自分にできること・したいこと・やらなければならないこと～」

講師：尾形 恵子 氏（㈲ティップス取締役社長）

【第3回】「コミュニケーションスキルを学ぶ～私の強みを知り、伝えるチカラをUPしよう～」

講師：木須 八重子 氏（国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ）

【第4回】「ロジカルシンキング～課題の考え方、取り組み方を身につけよう～」

講師：青木 孝弘 氏（会津大学短期大学部産業情報学科准教授）

【第5回】「ふりかえりと次のステップへの踏み出し～そして私はどうなるのか～」

講師：廣瀬 隆人 氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

○ 「チェリア塾実践コース」を庄内地域で開講

「チェリア塾・実践コース」は、基本コース修了生を対象に、受講者自らが自主企画講座を企画・運営し、実践力を身につけるとともに確固たるネットワークを築くための講座です。本年度は、庄内地域での基本コース修了生のうち12名が参加し、グループに分かれて自主企画講座を開催しました。受講者は役割を分担し、苦労しながらも協力し合って最後は成功裏にやり遂げました。

【自主企画講座】

男女共同参画社会を実現するためには何が足りないのか、そのために何をすればよいのかから検討し、2つの企画を考えました。



〔グループに分かれ、それぞれ自主企画講座を作り上げていきます。〕

- ★ 「災害に強い地域づくりのために」～防災・減災に女性の力を生かす～

講師 宗片恵美子氏（特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事）

- ★ 「自分の気持ちを言葉で伝えるコミュニケーション術」～アサーティブコミュニケーション～

講師 中野満知子氏（オフィス「想」ネットワーク代表）

○ 「チェリア塾専門コース」を開講

【ワークショップ技法の習得】

チェリア塾修了生や男女共同参画推進員を対象に、出前講座等の実践活用を念頭に、チェリア塾専門コースとして男女共同参画を分かりやすく伝えるための「男女共同参画ワークショップの技法の習得」講座を開催しました。

東北文教大学短期大学部特任准教授の齋藤由美子さんを中心にチェリア塾修了生が補助役となり、昨年度の基礎編に続いて実践編という位置づけで全3回の講座を開催しました。最終回では、受講生全員（10名）が「仮想出前講座」を実践し、出前講座の要請に対していつでも対応できるまでに成長した姿を見ることができました。

今後、講師・ファシリテーターとしての活動が期待されます。

【「やまがた緑塾」「ジェンダー白熱教室」（知識の習得）】

出前講座や男性セミナーなどの講師として活動するためには、それを分かりやすく伝える技法とともに、男女共同参画に関する理論についてもある程度正確に持ち合わせておくことが重要です。

このため、村山地域においては高木直氏（山形県男女共同参画センター館長）を講師に「やまがた緑塾」を、庄内地域においても伊藤眞知子氏（東北公益文科大学教授）を講師に「ジェンダー白熱教室」を開講し、ジェンダーに関して体系的・理論的に学びました。

○ 男性セミナーの開催

県内4地域のチェリア塾修了者による「チェリア塾ネットワーク」が男性の男女共同参画への気づきを促すセミナーを企画・開催しました。

【村山地域】「ちがいがわかる男のコーヒー座談会」

- ・ 期日：令和元年10月12日（土）
- ・ 会場：上山市働く婦人の家

【庄内地域】「男のフラワーアレンジメント」

- ・ 期日：令和元年12月15日（日）
- ・ 会場：東北公益文科大学大学院セミナーハウス

【最上地域】「自他ともに幸せな終活を考える～男の人生の始末～」

- ・ 期日：令和2年1月12日（日）
- ・ 会場：新庄市民プラザ

【置賜地域】「ちがいがわかる男のコーヒー座談会」

- ・ 期日：令和2年2月15日（土）
- ・ 会場：米沢市すこやかセンター

【ちがいがわかる男のコーヒー座談会の様子】



〔第一部では、おいしいコーヒーの入れ方や楽しみ方を学びました。〕



〔第二部では、家族とおいしいコーヒーを楽しもうと題し、ワークショップを行い考えました。〕

○ 男性相談の実施

男性は、悩みごとがあっても誰にも話せず、一人で抱え込んで頑張り過ぎてしまう傾向があると言われる、深刻な事態に発展してしまう場合もあります。

このため、男性が相談しやすい環境整備を目的に、「やまがたいのちの電話」のご協力で男性相談員を配置し、「男性ほっとライン」として男性相談専用の電話相談窓口を設置しています。（毎月第1・第2・第3水曜日：19:00～21:00）

○ 「悩みに寄り添う講座」の開催

「チェリア相談室」に寄せられる相談は多岐にわたりますが、相談内容の根底に潜む一人ひとりが抱えている“生きづらさ”に焦点を当て、相談事業から見えてくる悩みに寄り添う講座を開催しました。

第1回は11月7日（木）、チェリア相談室に多くの相談が寄せられる「離婚」をテーマに、山口紗世子氏（弁護士）を講師に開催しました。離婚の手続きをはじめ、子どもの親権や養育費に関すること、財産分与や年金分割のことなどについて分かりやすく話していただきました。

第2回は12月10日（火）、「家族関係（夫婦・親子）の問題と解決」と題して、若島孔文氏（東北大学大学院教育学研究科准教授）を講師に開催しました。家族の中の特に関係の問題について、具体的な事例を見ながらその原因や対処法について、原理原則に立った考え方を学びました。

5. DV未然防止に向けた意識啓発の強化

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から加えられる暴力」をいいます。

県では平成 28 年 3 月に「山形県DV被害者支援基本計画」を策定し、男女が互いに人権を尊重し、暴力のない社会の実現に向け、取り組んでいます。県及び県男女共同参画センター・チェリアの令和元年度の主な取組みを紹介します。

（1）デートDV防止出前講座の実施

若年層におけるDV事案の未然防止、意識啓発のため、平成 24 年度から県内公立・私立高等学校、短期大学、大学等の生徒を対象に「デート DV 防止出前講座」を実施しています。講師による講話のほか、DVDでの事例紹介、ロールプレイ等、高校生や大学生等への啓発を行いました。

【事業実施回数】

	高等学校	大学・短大	専門学校	計
平成 24 年度	5	3	—	8
平成 25 年度	8	1	—	9
平成 26 年度	7	3	2	12
平成 27 年度	13	3	2	18
平成 28 年度	13	3	2	18
平成 29 年度	14	3	2	19
平成 30 年度	12	1	2	15
令和元年度	11	1	1	13
延べ実施校数	83	18	11	112

（2）～女性に対する暴力をなくす運動～パープル・リボンキャンペーン

パープルリボンキャンペーンとは、パープル（紫）色のリボンを身につけることで、「暴力のない世界にしたい」という想いや、被害者に対する理解・支援を行う運動です。今年度も、県庁ロビー、遊学館、総合支庁、さらに県内各市町村で啓発ポスターの掲示やパープルリボンブローチの配布、パネル展示、ライトアップキャンペーン、県内各地のご当地キャラクターのパープルリボンブローチ着用など女性に対する暴力をなくす運動の啓発に取り組みました。



山形県郷土館「文翔館」の
パープルライトアップ



ご当地キャラクターのパープルリボンブ
ローチ着用の様子
（南陽宣隊アルカディオン[南陽市]）

(3) デートDV予防セミナー

DVを生みださない社会にするため、また子ども達をDVの被害者にも加害者にもしない教育の充実のため、関心がある方を対象に、デートDVに関する基礎知識及び若年層におけるデートDVの実態についてのセミナーを開催しました。

【日時】令和2年1月11日(土) 13:00~14:30

【会場】ナセBA(米沢市)

【講師】NPO法人サポート唯 副代表理事 田中 千鶴子 氏



6. 提言等

(1) 全国知事会提言

女性活躍～ウーマノミクス～を加速し、経済活性化！！
～育児・介護と仕事の両立支援、男女が尊重し合い格差解消～

○ 取組みの背景

全国の知事が協力して、男女共同参画について総合的に調査・研究等を行い、適切な施策を強力に推進するため、全国知事会に男女共同参画プロジェクトチームが設置されています。

本県の吉村知事は、平成24年から当プロジェクトチームのリーダーに任命され、今年度も各都道府県知事と協力し提言書を取りまとめ、8月に内閣府、厚生労働省へ提言活動を行いました。

○ 提言の内容

II. 提言

女性の活躍～ウーマノミクス～を加速し、経済活性化！！
～育児・介護と仕事の両立支援、男女が尊重し合い格差解消～

実現に向けた6つの提言

提言(1) あらゆる分野における女性の活躍促進<一部新規>

提言(2) 女性も安心して長く働き続けられる職場環境の整備<一部新規>

Ⅰ. 子育てと仕事の両立支援

Ⅱ. 労働条件の整備促進、待遇の改善

提言(3) 介護離職ゼロ！を目指した、介護と仕事の両立支援

提言(4) 「健康経営」の促進と、生涯を通じた健康支援の強化<新規>

提言(5) 女性と男性が、互いに人権を尊重する取組みの促進<一部新規>

提言(6) 人手不足対策と経済活性化のためには、女性の活躍が不可欠！
本気で取り組むための十分な財源の確保を！
<一部新規>

(2) 内閣府男女共同参画会議

男女共同参画会議は、内閣府に置かれる5つの重要政策会議のうちの1つであり、男女共同参画社会基本法第21条に基づき、内閣府に設置されたものです。

主な役割は、男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的な方針・政策、重要事項等の調査審議及び政府の施策の実施状況の監視・影響調査等です。

本県の吉村知事は、平成31年3月から当会議の議員に就任しました。

【日時・会場】

第57回 平成31年4月8日(月) 17:10～17:35 ・総理大臣官邸

第58回 令和元年6月4日(火) 17:00～17:20 ・総理大臣官邸

第59回 令和元年11月12日(火) 16:50～17:10 ・総理大臣官邸

【構成員】(令和2年3月9日現在) ※敬称略

議長 内閣官房長官 菅 義偉

議員 総務大臣 高市 早苗

同 法務大臣 森 まさこ

同 外務大臣 茂木 敏充

同 財務大臣 麻生 太郎

同 文部科学大臣 萩生田 光一

同 厚生労働大臣 加藤 勝信

同 農林水産大臣 江藤 拓

同 経済産業大臣 梶山 弘志

同 国土交通大臣 赤羽 一嘉

同 環境大臣 小泉 進次郎

同 国家公安委員会委員長 武田 良太

同 内閣府特命担当大臣(男女共同参画) 橋本 聖子

同 株式会社丸井グループ代表取締役社長 青井 浩

同 武蔵野大学人間科学部長・教授 小西 聖子

同 十文字学園女子大学副学長 佐々木 則夫

同 中央大学大学院戦略経営研究科教授 佐藤 博樹

同 麗澤大学大学院特任教授・モラロジー研究所教授 高橋 史朗

同 明治大学専門職大学院法務研究科教授 辻村 みよ子

同 全国女性会館協議会代表理事 納米 恵美子

同 福津市副市長 松田 美幸

同 お茶の水女子大学長 室伏 きみ子

同 日本労働組合総連合会副会長 芳野 友子

同 山形県知事 吉村 美栄子



〔男女共同参画会議の様子〕

(3) 「女性首長によるびじょんネットワーク」会議

本会議は、小池東京都知事と吉村山形県知事が共同座長となり、全国の自治体の女性首長の参加を得て、経済界で活躍する女性経営者とともに意見交換や情報交換を行い、女性活躍推進の気運を一層盛り上げていくことを目的としたものです。

吉村知事は主催者の一人として「日本は、政治や経済の分野における女性の活躍が世界の中で低いポジションにある。女性も男性も互いに人間として尊重し合い、支え合って社会に貢献することを小さいときから教え育てることが肝要。御一緒にウーマノミクスを進めてまいりましょう。」とあいさつしました。

会議では、参加首長によるメッセージや基調講演等が行われ、最後に、女性が輝く社会の実現を目指した宣言文を発表しました。



〔小池東京都知事と吉村山形県知事〕

【日時】令和元年11月16日(土) 14:30~19:00

【会場】東商グランドホール(東京都)

○ 宣言文



女性首長による
びじょんネットワーク

女性首長によるびじょんネットワーク宣言

私たちは、「女性首長によるびじょんネットワーク」の一員として、女性が輝く社会の実現を目指し、自らが先頭に立って以下の取組を展開していくことを、ここに宣言します。

1. 私たちは、政治や経済をはじめとする社会のあらゆる分野において、意思決定への女性参画が進むよう率先して行動します。
2. 私たちは、地域のさらなる活性化に向けて、性別にかかわらず誰もが活躍できるよう、社会全体の意識改革を進めます。
3. 私たちは、女性のリーダーとしてこれまでに培ったノウハウを生かし、誰もが輝く未来の担い手となるよう、次世代の育成に力を注ぎます。

今回立ち上げた、このネットワークを基に、女性活躍に向けた成功事例の共有や、新たな取組に向けた意見交換を、積極的に進めてまいります。

東京都知事	小池百合子	山形県知事	吉村美栄子
仙台市長	郡和子	栃木市長	大川秀子
那須烏山市長	川俣純子	安中市長	茂木英子
君津市長	石井宏子	足立区長	近藤やよい
武蔵野市長	松下玲子	横浜市長	林文子
加茂市長	藤田明夫	大野市長	石山志保
北杜市長	渡辺英子	諏訪市長	金子ゆかり
鳥田市長	奈谷絹代	伊豆の国市長	小野登志子
鈴鹿市長	末松則子	大津市長	趙直美
木津川市長	河井規子	尼崎市長	稻村和美
戸屋市長	伊藤舞	宝塚市長	中川智子
食散市長	伊東香織	新見市長	池田二三
宇都市長	久保田右子	岡南市長	藤井律子
宗像市長	伊豆美沙子	那覇市長	城間幹子
外ヶ浜町長	山崎結子	野木町長	真瀬宏子
長瀬町長	大澤タキ江	二宮町長	村田邦子
津南町長	桑原悠	播磨町長	清水ひさ子
美浜町長	藪内美和子	いの町長	池田牧子

令和元年11月16日